

令和5年10月26日
健康推進課

令和4年度 練馬区がん検診無料チケット事業について

1 事業目的

子宮がん、乳がんの罹患者は近年増加傾向で、比較的若い年齢で罹患率のピークを迎える。このため、子宮がん検診は20歳、乳がん検診は40歳からの受診を習慣づけ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

2 事業内容

検診初年度となる子宮がん20歳、乳がん検診40歳の女性区民へ、自己負担金が無料となるチケットおよび啓発用リーフレットを個別送付。

無料チケット

対象者の検診費用を無料とすることで受診のきっかけを作り、検診に対する誤解や不安を払拭する。

啓発用リーフレット

がん検診の制度を周知することに加え、がんに対する正しい知識の普及、早期発見の重要性を伝える。また、適正な受診間隔で受診することの必要性について周知し、継続的な受診を促す。

3 目標

種別	目標受診率
子宮がん検診（20歳）	11.0%
乳がん検診（40歳）	26.0%

目標受診率：国実施のクーポン事業における全国平均受診率。

4 実施状況

<対象者>

子宮がん検診（20歳）	平成14年4月1日～平成15年3月31日生まれ
乳がん検診（40歳）	昭和57年4月1日～昭和58年3月31日生まれ

<対象者数、受診件数および受診率>

子宮がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
令和元年度	3,540人	187件	5.3%
令和2年度	3,687人	248件	6.7%
令和3年度	3,493人	168件	4.8%
令和4年度	3,261人	137件	4.2%

乳がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
令和元年度	5,212 人	1,125 件	21.6%
令和2年度	5,162 人	1,082 件	21.0%
令和3年度	5,038 人	1,040 件	20.6%
令和4年度	5,191 人	837 件	16.1%

< 発送日 >

令和4年4月26日(火)

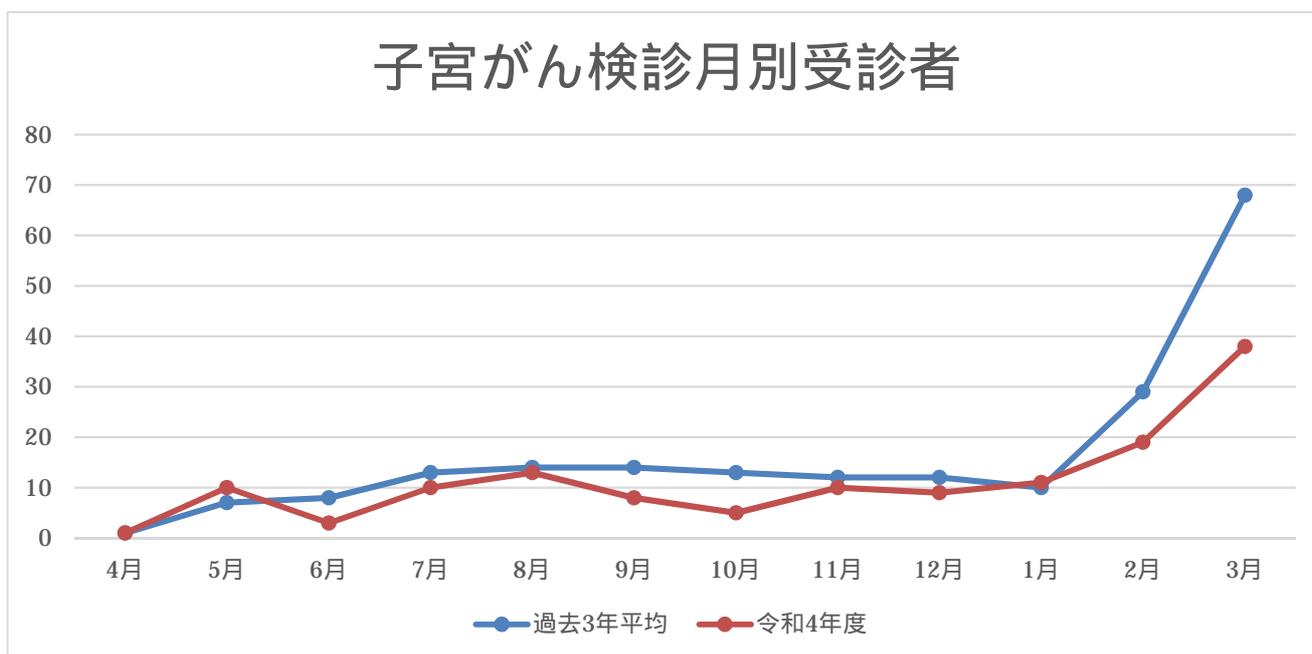
5 受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するため、過去3年(令和元年~令和3年度)の平均と比較した。

【子宮がん検診】

無料チケット送付直後の5月は受診者が増えたものの、受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

令和4年度 137人(4.2%)、過去3年平均 201人(5.6%)



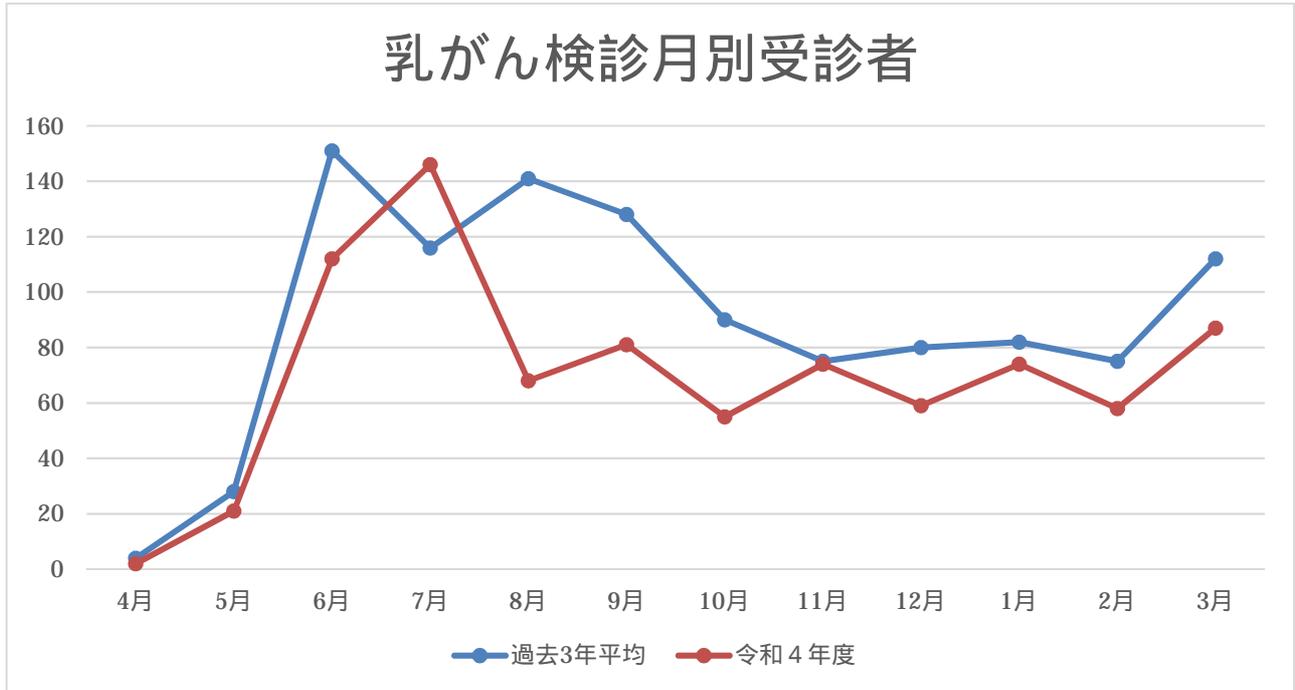
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	1	7	8	13	14	14	13	12	12	10	29	68	201
令和4年度	1	10	3	10	13	8	5	10	9	11	19	38	137

【乳がん検診】

乳がん検診の受診月は、申込み月の2か月後となるため、6月以降の受診状況を比較する。

無料チケット送付から2か月後は例年通り受診者数が大幅に増えたものの、合計では受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

令和4年度 837人(16.1%)、過去3年平均 1,082人(21.1%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	4	28	151	116	141	128	90	75	80	82	75	112	1,082
令和4年度	2	21	112	146	68	81	55	74	59	74	58	87	837

6 考察

子宮がん検診および乳がん検診ともに前年度比で減少となったが、子宮がん検診は25～29歳、乳がん検診は40～44歳の受診率がすべての年齢層の中で最も高い結果となっており、これは無料チケットによる継続受診の効果であると想定できる。